

事業概要 【福岡市データ連携基盤等構築事業】

実施地域	福岡県福岡市	実施主体	福岡県福岡市、公益財団法人九州先端科学技術研究所
事業概要	<p>行政サービスは、住民が自ら申請することを利用の前提とした「申請主義」に基づいており、セーフティネットが十分に機能しないことが、コロナ禍において顕在化しているところ。そのため、申請主義からプッシュ型行政へ転換を図ることを目的に、データ連携基盤及びポータルサイトを構築し、利用者の属性やライフサイクル、ニーズに応じた情報発信や、マイナンバーカードを利用し、オプトイン管理された個人情報を活用したプッシュ型の情報提供を行うことにより、市民一人ひとりに寄り添った情報発信を行う。今後は、構築したデータ連携基盤を活用し、分野横断的な官民データの連携を行うとともに、ポータルサイトを通じて様々な分野のサービスを提供し、市民の利便性向上や安心して暮らせる社会を実現する。</p>		

取組内容

スマートシティに関する取組みを加速させ、多様化する社会課題や市民ニーズに応えるため、分野横断的な官民データの連携を可能とする「**データ連携基盤**」の導入を実施するとともに、導入初年度のサービスとして、令和5年3月に**ポータルサイトとプッシュ型サービスの提供**を開始する。

【令和4年度に提供するサービス】

I 本人が登録した『属性情報活用型の情報表示サービス』

本人が登録した属性情報(利用者属性、ライフサイクル、ニーズ等)に応じて、オープンデータや市のホームページに掲載する情報などから、本人が知りたい情報をAI等にて抽出し、ポータルサイトにて優先的に表示するサービス

II 本人が登録した『属性情報活用型のプッシュ案内サービス』

本人が登録した属性情報(利用者属性、ライフサイクル、ニーズ等)に応じて、各種手当の受給案内や支援メニューなどの情報の中から、本人が必要とする情報・支援策等を本人が登録したメール・SMS等にてプッシュ型で提供するサービス

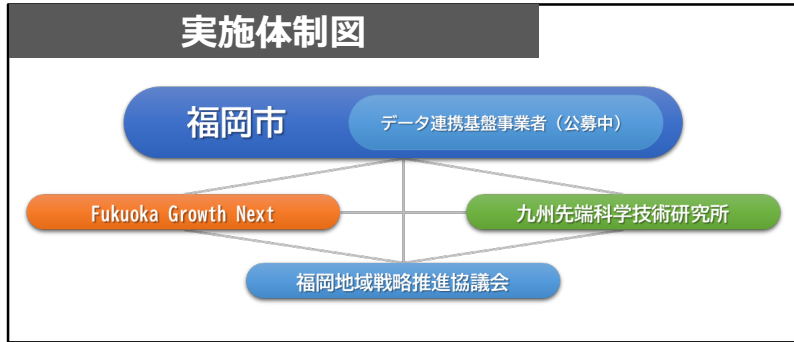
III 本人同意に基づく『個人情報活用型の“本人向け”プッシュ案内サービス』 (マイナンバーカードの利活用促進策)

属性情報だけでなく、マイナンバーカードを活用した本人確認登録者を対象に、個人情報活用に係るオプトイン管理を行い、個人情報活用の同意を得た情報を活用し、“本人が利用可能な行政サービス”の申請案内等を本人が登録したメール・SMS等にてプッシュ型で提供するサービス

IV オープンデータのAPI化

公開されているオープンデータの質を上げるためのデータクレンジングを行い、データ連携基盤(都市OS)によるAPIとしての公開を予定(※公益財団法人九州先端科学技術研究所による自主事業)

実施体制図



システム構成図

※構築事業公募中であり、構成は変更可能性有り

